

埼玉大学教育学部附属特別支援学校 第52回 特別支援教育研究協議会

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 重点課題研究
「特別支援教育に関わる教育課程の基準等に関する研究」 研究協力校

児童生徒の 確かな学びを目指した 授業づくり (3年次)

「各教科等を合わせた指導」における学習評価の研究

後援:埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県特別支援教育研究会 埼玉県連合教育(予定)

令和6年12月14日(土) 9:30~16:30

場所: 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

対面参加/オンライン参加 ※ハイブリッド開催 **参加費無料**

予定

9:30~	10:25~	11:20~	12:10~	13:15~	15:00~	16:30
全体会	公開授業	意見交換会	昼食	分科会	講演会	

講演会

「言語発達の視点から考える授業づくり・学習評価(仮)」

講師 文教大学教育学部 教授 **小野里 美帆** 様

※詳細、お申込み方法については、二次案内をお待ちください。

■ 研究の背景

▶本校では「各教科等を合わせた指導」を重視し、生活に即した学習や体験的な学習を通して、児童生徒の自立と社会参加に成果をあげてきました。一方で、「各教科等を合わせた指導」の教科等の目標・内容との関連、児童生徒に何が身についたのかを教科の視点から明確にすることが課題でもありました。

▶そこで、「各教科等を合わせた指導」において、取り扱う各教科等の目標・内容を明らかにし、その学習評価のあり方を改善することが、児童生徒の「確かな学び」を育む授業づくりにつながるのではないかと考えました。

※「確かな学び」

『「確かな学力」及びそれを身に付ける過程で、自身の学び方、ともに学ぶ仲間や相手、環境を意識し、実際の生活の場面で活用できること。』と本研究では定義しています。

■ 今年度の研究

1年次の研究

▶1年次は、1単位時間の授業において、どのような教科等の目標・内容を取り扱っているかを分析し、教科等ごとに評価規準を設定して学習評価を行いました。(授業計画評価シートの作成・活用)

2年次の研究

▶2年次は、1単元において、単元を通してどのような教科等の目標や内容を取り扱っているのかを分析し、それを踏まえた単元計画の検討、実践、評価を行いました。(単元計画評価シートの作成・活用)

3年次（今年度）の研究

▶3年次は、研究のまとめとして1, 2年次の研究成果である、**授業計画評価シート**、**単元計画評価シート**を作成、活用しながら、児童生徒の「確かな学び」を育むための授業づくりに主眼をおいています。

▶どのような単元計画、授業の展開、指導・支援の方法などが適切なのかといったことを、授業実践を行い、学習評価を活かしながら検討していき、児童生徒の「確かな学び」、それを支える授業づくりのポイントについてまとめていきます。



お問い合わせ



埼玉大学教育学部附属特別支援学校

〒336-0021 埼玉県さいたま市北区日進町 2-480

電話:048-663-6803

HP : <https://fuyou.saitama-u.ac.jp/>

担当:研究主任 柳瀬 貴之

Mail : tyanase@mail.saitama-u.ac.jp



学校 HP